



# なかましんぶん

H31年2月1日 VOL95 小川和代



1月・2月・3月は一緒に過ごしてきた仲間と、最後の心温まるような時間。そして、大きくなった充実感を味わい進級進学に向けて、期待を持って過ごす時間としています。寒い日が続く中でも、少しずつ季節が変わっていくのを楽しみながら、ゆったりと過ごしていきたいと思います。

インフルエンザが猛威を振るっています。園での蔓延を最小限にとどめるために、怪しい時の迅速な対応や、出席停止の期間厳守のご協力をお願いします。

## 日常の子どもの姿から10の姿の育ちを読み解くと...

(太字が幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿)

### 好きこそものの上手なれ

卒園生の絵を地下鉄の中に見つけました。日がな一日、絵を描いて過ごしていた彼女の姿を思い出し、この絵を描いている時の表情を思い浮かべます。きっと二年生の今も、あの真剣な眼差しは変わらないことだろうな～。

卒園生から年賀状の便りが届きました。野球に打ち込んでいる様子うかがえる年賀状、彼は発表会でもバッターを演じてたなあ。彼のお父さんはなかまちっこ園の玄関の絵が大好きだったな。それでよく似たアングル！お父さんも変わらないなあ。一味違う個性的な年賀状、よく見ると〇〇画（卒園生の名前）って書いてある。そうそう、色遣いも、雰囲気も彼女っぽい！面影さえ残さないほど、凛々しいサッカーのユニフォーム姿を見つける。仲間に囲まれて輝いている。そう、人が大好きな子だったよ！たくましくなって！！あんなに手がかかったのにね～(笑)どれもこれも、その子らしく成長してる姿が、なんとも言えず嬉しい。

そう、みんな与えられたその人らしさを存分に発揮していく力と可能性を秘めている。けれども、私たちそんな実感を持って日々を送っているから、逆に、できない何かに囚われて日々を送っているかもしれない。いつからそんな風になってしまうのでしょうか？大人は、子どもの続きです。突然の分かれ道でそんな風になるというよりは、長い一本道続いている感じ、その長い道のりの延長線上にその人の向かう先が決まっているのかもしれない。

興味は何にも勝るやる気スイッチです。子ども時代は、まだまだ知識を持っていない分、まわりの世界全てに純粋な興味でいっぱいです。「鬼の嫌いなヒイラギの葉っぱを用意しないと！」「公園の木は取っちゃダメだね」「落ちてるのならいいかも」「落ちてなかったら先生公園の人に電話して」「あ、落ちてる！」「汚いねこれ（虫食い）鬼さん嫌いかもしれない」「嫌いならちょうどいいよ」こんな風に、情報を集めて処理していきます。鬼退治という興味がなければ、無いことです。（豊かな感性と表現：心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲を持つようになる。）



大好きな人にお手紙を書きたい！それが文字への興味に繋がることもあります。絵本が大好き、それが文字を覚えてしまう方法になることもあります。虫、恐竜、魚、動物、好きなものはどんどん深まって広がっていきます。絵を描くことが大好き、だからこそとんごん構図も配色も上達していきます。制作が大好き、だからとんごんアイデアやイメージが膨らみます。ドッチボールが大好き、それで作戦も論理的になっていくし、体もしなやかになっていきます。リレーで勝ちたいからこそ、タイム測定なんてことを思いつき、数字と早さが頭の中で繋がっていきます。楽しみにしてることがあるから、カレンダーや時計を理解するようになり時間の経過を知っていきます。*(数量や図形、標識や文字など絵の関心・感覚：遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要性に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚を持つようになる。)*

逆に、興味が無いことを教えたり、させたりすることの、なんと難しいことでしょう！10人いれば思い入れは10通りです。みんなその人の路線で、その人らしく生きていく方法を見つけたり、それに向かっていく力こそ、つけたい力かもしれないですね。そうすれば、できない何かに囚われて日々を送るというより、いつも、やりたいことを実現していく未来に繋がっていくのかも。興味を持てるものを持つこと、目標を持つことは、人生を豊かにする財産になると思います。そしてその興味や目標は、心の底から湧いてくるような思いであって欲しいと思います。

こども達はもちろん、私達大人も含めて人はずっと発達途上といえます。それぞれの置かれた環境から、いろいろな経験を通して、いろいろな考えに触れて、・・ありとあらゆる様々な影響を受けて、自分独自の価値観を作っていくのだと思います。その人の歴史ともいえる大切な価値観。自分のそれと同じように他者の価値観も大切に扱えたり、それができる人になりたいと願いを持てるような方向に向かって発達を続けていく事が出来たなら、幸福感を感じることの多い人生になっていくのではないのでしょうか？なぜなら、人と響き合えることがもたらす幸福感は一人で味わえる幸福感よりもずっと幅広いはずだと思うからです。

## 年長ドッチボール大会

ドッチボールにかける思いが心から湧き上がっています。ドッチボール大会という環境ももちろんですが、昨年の優勝という経験がもたらす影響はとても大きいものがあります。でも、実は年長さんだけの大会なので本人たちは経験したことが無いのです。でも、まるで経験したかのように去年の大会の後から今年までの大会の日まで、見通しをもって着々と準備をしてきました。思いは実際の経験からだけではなく、心躍る感覚から湧いていることが伺えますね！そして、この人ごと(先輩の優勝)を自分ごとと感じている心持が素敵だと思いませんか？私たち大人も、世渡り術のようなものを見よう見まねで覚えていき、社会文化を伝承して行っていますが、こども達もまた、こどもの世界を自分たちで知らず知らずのうち伝承していつているのですね！！今年は、新ルールにより残念ながら優勝は逃したものの、こども達がドッチボールを通して経験してきたことの価値は、それぞれの子どもの心と体に刻み込まれたことでしょう。そして、その思いがまた次の年長へと引き継がれていく。「思い」の継承を、こんな小さなこども達がしっかりとした足取りでやれている！本当に子どもの心って偉大ですね！！この「思い」こそが仲間の絆であり証ですね。大げさかもしれませんが、こども達は自分たち自身で自分たちの保育園の伝統を作り上げて、大切に守っていつてくれています。

今年も多くの感動をこども達から受け取り、あと少しで卒園です。残り僅かなった大切な時間です。